

各関係機関団体の長 } 殿  
各病虫害防除員 }

福岡県農林業総合試験場長  
(福岡県病虫害防除所)

令和 3 年度病虫害発生予察技術情報第 9 号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第 9 号（チャバネアオカメムシの越冬量）を発表したので送付します。

技術情報第 9 号

- 1 対象作物：果樹全般（ウメ、モモ、スモモ、ナシ、カキ、カンキツ等）
- 2 病虫害名：チャバネアオカメムシ
- 3 発生地域：県下全域
- 4 発生量：前年よりやや多（4月～7月）
- 5 本年の発生状況

- (1) 越冬量：県下 28 地点の常緑広葉樹林下落葉中における 1 m<sup>2</sup>当たりの越冬成虫数は 0.8 頭/m<sup>2</sup>で、過去 10 年では最も少なかった前年（0.3 頭/m<sup>2</sup>）よりやや多く、2019 年（0.8 頭/m<sup>2</sup>）並であった（表）。
- (2) 採集地点率：越冬成虫の採集地点率は 82.1%で、過去 10 年で最も低かった前年（41.4%）より多く、2019 年（79.4%）並であった（表）。

表 チャバネアオカメムシの1㎡当たり越冬成虫数、採集地点率及び4～7月成虫誘殺数

項目/年		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2012～21年平均
越冬成虫数 (頭)	県内平均	3.2	0.7	4.8	0.9	0.8	0.9	3.8	0.8	5.0	0.3	0.8	2.1
	朝倉	4.1	0.6	9.1	0.4	1.9	1.2	3.8	1.2	4.4	0.4	0.9	2.7
	久留米	5.2	1.3	6.8	1.7	1.1	1.4	5.4	0.9	8.5	0.5	1.0	3.3
	筑後	2.3	0.9	2.6	0.8	0.6	0.4	2.1	0.6	3.2	0.03	0.3	1.4
	福岡・飯塚・行橋	2.1	0.1	2.8	0.5	0.2	0.9	4.3	0.8	4.3	0.3	1.1	1.6
県内採集地点率(%)		94.1	73.5	97.1	76.5	67.6	79.4	97.1	79.4	97.0	41.4	82.1	80.3
4～7月成虫誘殺数(頭)	予察灯	2,501	112	2,128	86	126	206	1,400	120	2,951	120	-	975
	フェロモントラップ	11,957	553	15,279	237	338	493	2,530	38	2,635	19	-	3,408

6 防除上注意すべき事項

- 越冬量は4月～7月の予察灯やフェロモントラップでの誘殺数と密接な関係が見られるため、本年4月～7月の果樹園への飛来は前年よりやや多いものの、2019年並に少ないと考えられる。
- (1) 春先の気温が高く、越冬成虫が活動し始める時期が早い場合は、ウメ、モモ、スモモ等に早期に飛来すると予想されるので、果樹園への飛来状況の把握に努める。なお、把握のための観察は一部の樹だけではなく、園全体の樹について行う。
- (2) 予察灯やフェロモントラップが設置されている地域では、誘殺が増加する時期と量に留意し、誘殺数や果樹園への飛来が多い場合は、収穫前日数等農薬使用基準を遵守し薬剤防除を行う。
- (3) 今後の発生状況については、病虫害防除所ホームページ (<http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>) を参照する。

